



このカードには、クライジェファ® 治療を受けている患者様に重要な安全性情報が記載されています。このカードを常に携帯してください。

本剤治療により、患者様に自然に備わっている感染症に対する抵抗力が低下することがあります。特に髄膜炎菌感染症は、髄膜炎又は敗血症を呈すると急激に重症化し、死亡に至ることがあるため、早急に適切な治療を受ける必要があります。なお、髄膜炎菌ワクチンを接種していたとしても予防できない場合があります。以下の症状のいずれかが現れた場合、

1. 直ちに担当医師に連絡してください
2. 担当医師と連絡が取れない場合にはすぐに救急車を呼び、このカードを救急救命室のスタッフに提示してください

<髄膜炎菌感染症が疑われる注意が必要な症状>

初期症状は、以下のような一般的な風邪やインフルエンザの症状と区別が付きにくい場合があるので注意が必要です。

- ・発熱
- ・頭痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・筋肉の痛み

その他、髄膜炎菌感染症には以下のような症状があります。

- ・錯乱（混乱して考えがまとまらない、物事を理解できない）
- ・うなじのこわばり（首の後ろが硬直しあごを傾けられない）
- ・発疹、出血性皮疹（赤や紫色の斑点状の発疹）
- ・光に対する過剰な感覚（光が異様にキラキラ輝いて見える、異常にまぶしく感じる等）
- ・手足の痛み



注意すべき症状のいずれかが認められた場合は、直ちに医療機関を受診し、このカードを提示してください。

担当医師と連絡が取れない場合、すぐに救急車を呼び、このカードを救急救命室のスタッフに提示してください。

本剤治療を中止した場合でも、髄膜炎菌感染症が発現することがありますので、本剤の投与終了後も最低3か月間はこのカードを携帯してください。

アレクシオンファーマ合同会社

KLY-003-2609-01



クライジェファ® 患者安全性カード



医師向け情報



この患者様は、クライジェファ®（ゲフルリマブ）が処方されており、髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌）の発症リスクが増加しています。

- 髄膜炎菌感染症は早期の認識及び抗菌薬の治療が行われないと致死性あるいは死亡に至ることがあります。
- 髄膜炎菌感染症が疑われる場合あるいは否定できない場合には、適切な抗菌薬を用いた治療を直ちに開始してください。詳しい治療法に関する情報は、適性使用ガイド（p.7）を参照ください。

<https://alexionrare.jp/-/media/alexionrarejp/product/klygefa/library/guide-for-appropriate-use.pdf>

第三世代セフェム系（例：セフトリアキソン、セフォタキシム、等）の抗生物質療法が推奨されています。

- 緊急で診察した場合は、クライジェファ® 治療病院の担当医師に連絡してください。

本剤の最新の添付文書はこちらからご確認いただけます。

アレクシオンレア

感染予防のため、ワクチン接種が必要です。

接種したワクチン情報を記入ください（医師記入）。

接種したワクチンの 接種日を記入ください	接種日	接種日
髄膜炎菌ワクチン（4価）	年 月 日	年 月 日
髄膜炎菌ワクチン（B型） （必要に応じて）	年 月 日	年 月 日



クライジェファ® 治療を受けている患者様は、このカードを常に携帯し、患者様の治療にあたる医師全員に、このカードを提示してください。

患者名 _____

クライジェファ® 治療（かかりつけ）病院： _____

担当医師： _____

電話及びメール： _____

緊急時受診可能医療機関

病院名※： _____

連絡先医師名： _____ 電話： _____

※緊急時受診可能病院をあらかじめ担当医師と相談してください。